



5月20日、応接室において、剣淵ライオンズクラブから時計が贈呈されました。

この時計は、剣淵ライオンズクラブの環境美化アクティビティー事業として、剣淵駅に併設しているバスターミナルに設置されます。

早坂町長は「駅・ターミナルの利用者に喜んでもらえます。大切に使わせていただきます。」と感謝の意を述べました。

5月20日、剣淵高校の田呂雄一教諭と平沢駿太教諭が、日本農業教育学会主催の第3回栽培・飼育教材開発コンクールの結果報告のため来庁されました。

このコンクールは、農業教育における栽培・飼育に関する有効な教材開発を目的に開催され、剣淵高校の「地域と連動した鶏の飼育と持続可能な農業教育の展開」が最優秀賞を受賞しました。

昨年8月から飼育している名古屋コーチンの餌として、農場内の野菜くずや給食センターで出る出汁の残りカスのかつお節の他、道北地域の資源を活用しています。

社会的な問題解決に向け、生徒が地域住民など多くの人と関わり、輸入飼料に頼らない地域資源を活用した持続可能な農業への取り組みが高く評価されました。



5月24日、剣淵高校の生徒によるボランティア活動が行われました。

3年ぶりに実施されたこの活動では、実習で育てた花の苗を公共施設や福祉施設など計6カ所の花壇に植えていただきました。施設ごとに班に分かれ、1・2年生は初めての活動であったため、3年生に花の移植の方法を教わっていました。なお、花苗を植えた花壇は次のとおりです。（役場・消防前、剣淵郵便局前、絵本の館、診療所、道の駅、ひらなみ荘

（南側花壇）：計6カ所の他、剣淵駅にプランターを設置）



5月27日、大会議室において、光回線開通手順に係る町民説明会が開催されました。

説明会には、新規開通地域の住民約30名が参加し、光回線を利用するための手順や工事内容などの説明を受けました。

なお、新規開通地域では光回線が7月20日から利用できる予定となっています。



Topics



6月1日、大会議室において、高齢者スマート教室が開催されました。

この教室は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、(株)北海道通信特機から3名の講師に来ていただき、65歳以上の町民を対象に初級コース全8回の課程で実施しています。(定員15名)

高齢者のスマートへの苦手意識を解消するため、実際にiPhone(アイフォン)を活用しスマートの基本的な使い方を学ぶことができます。なお、教室は9月以降にも開催予定です。

6月6日、剣淵高校の農業実習場において、学び舎ひらなみ「ベコニアの寄せ植え体験」が行われました。

この学び舎ひらなみは、令和3年度で閉校した、高齢者学級ひらなみ大学に代わる年間登録制の生涯学習の場となっています。

この日の講座は、剣淵高校の田呂雄一教諭を講師に、通常のベコニアよりも大きいサイズである『ベコニアハイブリット種』の寄せ植え体験を行いました。



6月7日、中会議室において、明治安田生命相互保険会社との包括連携協定締結式が行われました。

この協定は、剣淵町民の健康増進や町民サービスの向上を目的に、相互に連携・協力しながら取り組むものです。

この協定の締結により「健康づくりに関する事項」のほか4項目を連携事項として、今後健康づくりに関する講演会やイベント時などで健康に関するブースの設置など、様々な事業を行うことが可能となりました。



6月17日、健康センターにおいて、ふれあい健診・長生き健診が行われました。

この健診は、6月13日から6月17日の5日間、20歳以上の町民を対象に、一般健診・特定健診・後期高齢者健診の基本健診のほか、がん検診、肝炎検査などを追加で受けることができる健診となっています。

剣淵町は、平成30年度と令和元年度に特定健診の受診率が7割を超え、全道1位となりました。この5日間の健診では、町民約370名が受診しました。

